

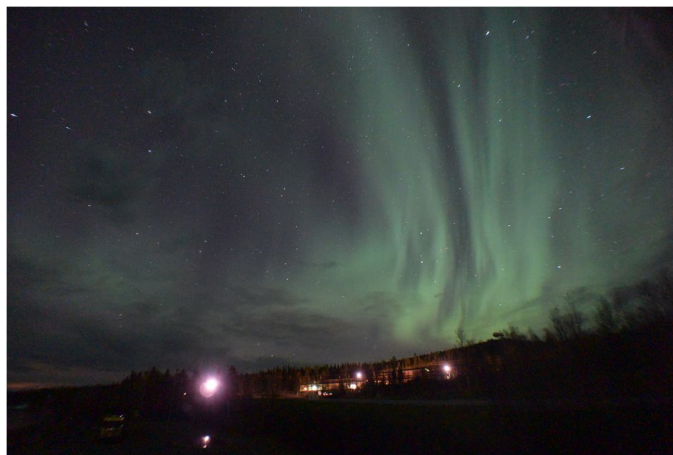
## 「10月のオーロラ」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

9月に復旧したオーロラ観測カメラが、10月に入ってから、続々とすばらしいオーロラの画像を日本に送ってきている。その一部を紹介したい。画像はいずれも、スウェーデン Jokkmokk Kommun (ヨックモック郡) ポルユス村に設置した、デジタル一眼レフカメラを、日本から操作して撮影したものである。いずれも、その日に最も明るく、或いは大規模に出現した時をとらえた画像である。



10月2日。この秋、最も明るく大規模なオーロラ。地面や湖面(左端下)をも緑色に染める。ブレイク・アップ(オーロラ爆発)が起きたと判定できる。



9月30日のオーロラ。この日のオーロラは、特別に明るいものではなかった。しかし、ほぼ南北に立ち上がるように成長したカーテン上のバンドが、なかなか見事である。左側には紫色のFタイプのオーロラも見られる蛾、小規模である。



10月3日。頂上部が紫色の、典型的なFタイプオーロラ。レイ(縦筋)も見事で、秋らしい非常に美しいオーロラである。



10月1日のオーロラ。雄大なバンド・オーロラが長時間に渡って出現していた。オーロラ・レイが大規模に巻き込む、スパイラル構造も見られる。太陽の活動が活発な証拠である。



10月4日。1日のオーロラと、規模も形状も似ている。